
特定非営利活動法人独立映画鍋

2013 年度事業報告

1、事業実施の報告

独立映画鍋は、2012 年 6 月 12 日に設立総会を行い、翌月 7 月 23 日のキックオフイベントとともに正式にその活動を開始しました。それから約 2 年の間、独立映画鍋の活動は地道ながら多岐に渡りました。

映画鍋の設立とともにスタートした、クラウドファンディングのサポートや、映画にまつわる勉強会を通じて、映画人同士の知見の共有を図る「鍋講座」などは、2013 年度、より発展的な形で継続しました。

motiongallery と提携してのクラウドファンディングにおいては、1年目にクラウドファンディングを行なった会員の経験を鍋講座を通じてシェアしながら、坂上香監督『トークバック 女たちのシアター』、藤井光監督『ASAHIZA』、岩名雅記監督『すさび』、山本俊輔監督『ジェラシー』、壺岐紀仁監督『ねぼけ』、太田信吾監督『わたしたちに許された特別な時間の終わり』、松浦真史監督『神視る女』、中村らら監督『ニッポンの麻やけ』、小西未来監督『KAMPAI』といった作品をサポートし、特に『トークバック 女たちのシアター』においては目標金額を大幅に上回る 3,302,500 円といったこれまでの最高額のファンディングを達成しました。現在も、原一男監督の主宰する new「CINEMA 塾」のクラウドファンディングが進行中で、今後も複数のプロジェクトが控えています。

上述の鍋講座のもほぼ月一回開催のペースを継続し、「国際コミュニケーション編」では映画監督の想田和弘氏をお招きし独立映画の生き延び方を伺い、「法律編③」では現役の弁護士の方に映像の肖像権について伺いつつ昨年度に引き続いて参加者に法律についての定期的な相談の機会を提供しました。また、「世界の映画行政を知る」と題し三回シリーズでフランスの CNC(国立映像センター)、韓国の KOFIC(韓国映画振興委員会)、日本の文化庁、それぞれの取り組みを各組織に縁の深いゲストをお招きし解きほぐし比較相対化していきました。そこから、私たちの享受する映画行政の輪郭を再確認しつつ、今後の提言についての多くの気付きを得ることができたと言えます。土屋豊監督の『タリウム少女の毒殺日記』を素材に映画配給のリアルを検証していく「新しい配給方法を企む公開作戦会議」もその東京公開終了に伴いひとつの区切りを向かえました。現実に進行中の実在の映画を元にこういった企画が行なえるフットワークの軽さも、映画の実作者から上映者まで横断して参加する映画鍋ならではの取り組みと言えるでしょう。これらの鍋講座の成果は、web を通じて「レポート」や「役立つ情報」の資料としてシェアされています。

また、現在 100 名強いる会員からもテーマを募り、直近では「フィルムコミッション」について学んだり、問題意識ごとに議論を専門化する「分科会」の構想が動き始めるなど、よりきめの細かい、映画人のニーズに添った情報の共有も実現しつつあります。

独立映画鍋の重要な目標のひとつは、認定 NPO になり寄付税制を利用して、映画業界への寄付の大きな窓口となることです。2012 年 11 月 19 日には NPO として東京都の認証を受け、11 月 30 日には無事設立・登記を果たしました。その後の一年は、認定 NPO 認証に向けて、認証後の活動をイメージしながら、発展的に土台を固めることができたのではないかと考えています。

共同代表 土屋 豊

共同代表 深田 晃司

<会員数> ※2014 年 6 月 12 日現在

正会員 10 名、賛助会員個人 94 名、賛助会員団体 3 団体

2、事業実施に関する事項

(1) インディペンデント映画製作、配給、上映支援事業

2013年度は8つの資金調達プロジェクトが立ち上がり、内4つは目標金額を達成。また、新しい取り組みとしては、資金調達プロジェクトの企画者がプレゼンテーションする機会として「クラウドファンディングリアル」を実施し、第26回東京国際映画祭とキトライブ 2014との連携企画として2回開催した。2012年度の課題であった「役立つ情報」については、9つの情報を更新。会員限定のコンテンツも掲載している。



【実施概要】

1) 資金調達プロジェクト（企画者名、コレクター数、合計金額）

- ・『トークバック 女たちのシアター』の制作費&宣伝費（坂上香、103人、3,302,500円）※目標金額達成
- ・『ASAHIZA』制作支援（藤井光、78人、1,112,000円）※目標金額達成
- ・『シャルロット／すさび』製作資金（岩名雅記、112人、1,303,000円）※目標金額達成
- ・『ジェラシー／Jealousy』製作資金（山本俊輔、64人、531,000円）
- ・『ねぼけ』ロケ費用サポート（志岐紀仁、119人、1,915,501円）※目標金額達成
- ・『わたしたちに許された特別な時間の終わり』配給宣伝協力（太田信吾、113人、1,603,000円）
- ・『神視る女（ひと）』制作費用サポート（松浦真史、10人、140,000円）
- ・『ニッポンの麻やけ』の製作資金（中村ららら、1人、5,000円）



2) クラウドファンディングリアル

- ・『クラウドファンディングリアル！ vol.1』（第26回東京国際映画祭連携企画、2013年10月21日開催）
第一部はトーク「クラウドファンディングリアルを経て、みえたこと」を開催。第二部で新企画のプレゼンテーションを4名が行なった。この模様はインターネット中継し、記録映像は一般公開している。
- ・『クラウドファンディングリアル！ vol.2』（キトライブ 2014 連携企画、2014年1月27日開催）
オーデイトリウム渋谷で開催されたキトライブ 2014で資金調達プロジェクトを実施中のメンバー5名の過去作品を上映。上映終了後にトークとプロジェクトについてのアピールを行なった。

3) 役立つ情報

- ・「岩名雅記監督・クラウドファンディング結果報告」*会員限定
- ・「鍋講座vol.1 クラウドファンディングを知る①日本で進む資金集めの新しいカタチ」採録 *会員限定
- ・「鍋講座vol.11 世界の映画行政を知る(フランス編)」資料 *会員限定
- ・「鍋講座vol.11 世界の映画行政を知る(フランス編)」レポート
- ・「助成金・製作支援プログラムリスト」(2013年1月現在)
- ・「ドキュメンタリー映画の支援プログラムリスト(海外)」(2013年1月現在)
- ・「鍋講座vol.6 助成金を知る①」レポート(日本語)
- ・「海外映画祭サバイバル・キット」(海外映画祭参加者が読んでおくべき必須情報/英語版)*会員限定
- ・「鍋講座vol.8 映画祭サバイバル・キット」レポート(日本語)

4) その他

会員である太田信吾監督の長編映画「解放区」の、シネアスト・オーガニゼーション大阪からの製作助成金を巡る一連の問題について、団体として今後何らかの表明をしていくこと、この問題に係わる支出に関して、2013年度予算並びに対応期間が延長した場合は2014年度予算より支出を許可することが確認された。

(2) インディペンデント映画振興、教育事業

勉強会「鍋講座」を全8回開催。映画祭の活用法や独立映画の海外展開を取り上げた「国際コミュニケーション編」、フランス、韓国、日本の映画行政を連続講座で比較した「世界の映画行政を知る」など、特に関心が高く、多くの参加者が受講した。また、共催企画としてセミナー「ドキュメンタリー制作者のためのフェアユース」を実施した。

【実施概要】(実施日)

- ・Vol.8『国際コミュニケーション編①映画祭サバイバル・キット』(2013年4月14日)
ゲスト:キャレン・セバンズ(映画監督、ジャーナリスト)
- ・Vol.9『法律編②2人の弁護士に法律相談! ハラスメントとWEB時代の著作権』(2013年6月7日)
ゲスト:田村祐一(弁護士)、西脇怜史(弁護士)
- ・Vol.10『国際コミュニケーション編②実践! 独立映画の海外展開!』(2013年7月3日)
ゲスト:想田和弘(映画監督「選挙」「精神」ほか)
- ・Vol.11『世界の映画行政を知る①フランス編』(2013年8月30日)
ゲスト:ヴァレリ=アンヌ・クリステン(ユニフランス・フィルムズ東京支局長)
手束紀子(ユニフランス・フィルムズ東京プロジェクト・マネージャー)
- ・Vol.12『法律編③弁護士に法律相談! プライバシー権・肖像権』(2013年11月1日)
ゲスト:西脇怜史(弁護士)
- ・Vol.13『世界の映画行政を知る②韓国編』(2013年12月23日)
ゲスト:チョン・インソン(韓国映画振興委員会日本通信員)
- ・Vol.14『世界の独立映画事情②インドネシア編』(2014年1月30日)
ゲスト:メイスク・タウリシア(映画プロデューサー「動物園からのポストカード」ほか)
- ・Vol.15『世界の映画行政を知る③日本編』(2014年3月12日)
ゲスト:堀口昭仁(文化庁長官官房国際課国際文化交流室振興係長)
- ・共催セミナー「ドキュメンタリー制作者のためのフェアユース」(2013年10月18日)

特定非営利活動法人独立映画鍋
活 動 計 算 書

[税込] (単位：円)

特定非営利活動法人独立映画鍋

自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	70,000		
賛助会員受取会費	335,000		
【受取寄付金】			
賛助会員寄付金	31,000		
飲み会残金の寄付	6,729		
【受取助成金等】			
受取入会金	30,000		
【事業収益】			
事業 収益	90,900		
【その他収益】			
受取 利息	66		
雑 収 益	28,691		
経常収益 計	592,386		592,386
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
諸 謝 金	34,065		
印刷製本費(事業)	128,319		
会 議 費(事業)	78,721		
旅費交通費(事業)	890		
通信運搬費(事業)	45,080		
消耗品 費(事業)	32,689		
雑 費(事業)	9,570		
その他経費計	329,334		
事業費 計	329,334		329,334
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
会 議 費	900		
旅費交通費	73,520		
消耗品 費	43,955		
広告宣伝費	133,040		
接待交際費	1,417		
新聞図書費	2,940		
支払手数料	6,970		
その他経費計	262,742		
管理費 計	262,742		262,742
経常費用 計	592,076		592,076
当期経常増減額	310		310
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			310
経理区分振替額			0
当期正味財産増減額			310
前期繰越正味財産額			562,099
次期繰越正味財産額			562,409

特定非営利活動に係る事業会計損益計算書

特定非営利活動法人独立映画鍋
全事業所

[税込] (単位: 円)

自 平成25年 4月 1日 至 平成26年 3月31日

【経常収益】			
【受取会費】			
正会員受取会費	70,000		
賛助会員受取会費	335,000		
【受取寄付金】			
賛助会員寄付金	31,000		
飲み会残金の寄付	6,729		
【受取助成金等】			
受取入会金	30,000		
【事業収益】			
事業 収益	90,900		
【その他収益】			
受取 利息	66		
雑 収 益	28,691		
経常収益 計	592,386		592,386
【経常費用】			
【事業費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
諸 謝 金	34,065		
印刷製本費(事業)	128,319		
会 議 費(事業)	78,721		
旅費交通費(事業)	890		
通信運搬費(事業)	45,080		
消耗品 費(事業)	32,689		
雑 費(事業)	9,570		
その他経費計	329,334		
事業費 計	329,334		329,334
【管理費】			
(人件費)			
人件費計	0		
(その他経費)			
会 議 費	900		
旅費交通費	73,520		
消耗品 費	43,955		
広告宣伝費	133,040		
接待交際費	1,417		
新聞図書費	2,940		
支払手数料	6,970		
その他経費計	262,742		
管理費 計	262,742		262,742
経常費用 計	592,076		592,076
当期経常増減額			310
【経常外収益】			
経常外収益 計			0
【経常外費用】			
経常外費用 計			0
税引前当期正味財産増減額			310
経理区分振替額			0
当期正味財産増減額			310
前期繰越正味財産額			562,099
次期繰越正味財産額			562,409

貸借対照表

特定非営利活動法人独立映画鍋
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成26年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 ・ 正 味 財 産 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		預り金	4,314
当座 預金	4,000	流動負債 計	4,314
普通 預金	566,723	負債の部合計	4,314
現金・預金 計	566,723	正 味 財 産 の 部	
流動資産合計	566,723	【正味財産】	
		前期繰越正味財産額	562,099
		当期正味財産増減額	310
		正味財産 計	562,409
		正味財産の部合計	562,409
資産の部合計	566,723	負債・正味財産の部合計	566,723

財 産 目 録

特定非営利活動法人独立映画鍋
全事業所

[税込] (単位: 円)
平成26年 3月31日 現在

《資産の部》	
【流動資産】	
(現金・預金)	
当座 預金	4,000
普通 預金	566,723
現金・預金 計	566,723
流動資産合計	566,723
資産の部 合計	566,723
《負債の部》	
【流動負債】	
預り金	4,314
流動負債 計	4,314
負債の部 合計	4,314
正味財産	562,409